

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成25年度～平成29年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（さがせいぶ） 佐賀西部森林計画区 （佐賀県）	事業実施主体	九州森林管理局 佐賀森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>佐賀西部森林計画区は唐津市、伊万里市、東松浦郡玄海町、西松浦郡有田町に位置する 5,187ha の国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は人工林58%、天然林42%となっており、主な樹種は針葉樹ではスギ・ヒノキ、広葉樹ではカシ・クヌギとなっている。</p> <p>当該計画区は、水源かん養保安林が全体の80%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、虹の松原をはじめとして優れた森林景観にも恵まれていることから、森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>このようなことから、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源のかん養等の公益的機能の発揮のみならず、生物多様性の保全及び地球温暖化防止、森林のふれあい等、森林の持つ多面的な機能の発揮が重要となっている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">149ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,536ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.4km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>11.6km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,079,015 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	149ha			保育面積	1,536ha		路網整備	開設延長	19.4km			改良延長	11.6km	総事業費			1,079,015 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	149ha																				
		保育面積	1,536ha																				
	路網整備	開設延長	19.4km																				
		改良延長	11.6km																				
総事業費			1,079,015 千円																				
費用対効果分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">総 便 益（B）</td> <td style="width: 70%;">4,944,325 千円</td> </tr> <tr> <td>総 費 用（C）</td> <td>1,286,657 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td>3.84</td> </tr> </table>			総 便 益（B）	4,944,325 千円	総 費 用（C）	1,286,657 千円	分析結果（B/C）	3.84														
総 便 益（B）	4,944,325 千円																						
総 費 用（C）	1,286,657 千円																						
分析結果（B/C）	3.84																						
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	費用対効果分析の結果、定性的な評価の結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備
施行箇所：佐賀西部森林計画区

都道府県名：佐賀
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,140,160	
	流域貯水便益	329,166	
	水質浄化便益	696,771	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,126,744	
環境保全便益	炭素固定便益	309,766	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	167,403	
	木材利用増進便益	36,170	
	木材生産確保・増進便益	435,311	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	6,873	
	森林管理等経費縮減便益	10,019	
	森林整備促進便益	685,382	
維持管理費縮減便益		560	
総 便 益 (B)		4,944,325	
総 費 用 (C)		1,286,657	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{4,944,325}{1,286,657} = 3.84$		

